

神奈川県保健衛生表彰式

2024年11月6日、鎌倉市保健福祉事務所にて令和6年度神奈川県保健衛生表彰式（県内の医療、環境衛生、食品衛生、薬事、地域公衆衛生など多年に渡り功績を治めた方や団体に表彰される）が行われました。

当院の今井院長は神奈川県内のコロナ患者への遠隔（オンライン）診療の対応により鎌倉市医師会推薦で表彰されました。



GON

第17号

連載第1回

訪問診療への道

医師 千葉晴子

日本内科学会 総合内科専門医
日本プライマリケア学会 認定医・指導医

私は宮城県仙台市の出身で、高校を卒業するまで仙台で過ごしました。大学は山形大学医学部に進み、蔵王連峰を望みながら、バレーボールに打ち込んだ学生生活でした。私が医師を志したのは、へき地の医師になりたいという思いからでした。医師不足の記事を読み、そういうところで医師として働きたいと思ったのが最初です。

大学時代もその思いはかわらず、へき地で必要となるのはどんなことだろうと考えた時に、総合診療という分野で特定の臓器や疾患にかかわらずに診療し、患者さんの心理社会的側面を考慮しつつ、必要であれば適切な時期に専門医に相談し、患者さんの抱える健康問題すべてに応じる診療科が自分のなかでずっとくっきりきました。当時はまだ総合診療科がある病院は少なく、総合診療の認知度も低かったのですが、奈良県で総合診療方式の研修を行っている総合病院があることを知り、大学を卒業後、関西へ行きました。そこで私は医師としての一步を踏み出したのですが、とにかく、主治医として、受け持ち患者さんのことについて、よく知ること、一番近くにいるドクターであることなど、基本姿勢を徹底的に教えられました。患者さんをたくさん受け持つというよりは、一人の方をじっくりみていくという研修方法で、どんなことも勉強になり、新しく患者さんが割り当てられるのが待ち遠しかったのを覚えています。

2年の研修を終えた私は、総合診療をさらに学ぶため、長野県の佐久市にある病院の総合診療科に進みました。高度救急医療まで行う地域の中核病院でしたが、関連の診療所と小規模病院があり、病院からの在宅医療も行っていました。病院で外来診療、不明熱や感染症、脳卒中などの入院加療を行いつつ、一人で地域の村にいて診療所の外来をしたり、在宅診療を行ったりという、いろいろな場での経験ができました。忙しかったですが、とても充実していました。ここで初めて在宅診療を経験し、診察室ではわからない、患者さんの家での状況や様子を実際に見ることはとても新鮮でした。入院が必要になれば病院に入院してもらい、治療してまた自宅に帰ったら、訪問するというような継続した医療を提供できることが大切だと考えるようになりました。佐久で出会った在宅診療は後に私の医師としての大きな部分を占めていくこととなります。

その後、名古屋の大学病院の総合診療科に勤務しつつ、週1回大都市での在宅医療に従事し、農村医療とはまた異なる、都市部での在宅医療を学びました。その後、地元の宮城に戻り、港に近い病院に勤務し、ここでも在宅医療と外来、入院診療を行っていました。

そこで勤務している時に、2011年3月11日を迎えます。



さくらネットのご案内

横須賀・三浦二次医療圏（横須賀市・鎌倉市・逗子市・三浦市・葉山町）では、当該地域の病院が中心となり「一般社団法人さくらネット協議会」が設立されました。

「さくらネット」は、同協議会が運営するネットワークシステムで、患者様の同意の下、個々の患者様の医療・介護情報等を、地域の病院、診療所、薬局、介護施設等の間で、相互に共有するものです。

ご登録いただいた場合、他の医療機関で受けた検査のデータや処方薬の情報を参照できるため、重複検査や重複処方、一緒に飲んではいけない薬（併用禁忌薬）の回避等ができます。また異なる施設の医療・介護情報を電子的に共有することで、災害時でも治療履歴が把握でき、適切に治療を継続することができます。

さくらネット

イザというときの
さくらネット
みんな登録!

詳細はこちら

同意はこちら

当院からのお知らせ

- 保険証の負担割合が変わったり、限度額証の交付を受けたらお知らせください。
- 在宅診療の方はLINEで前日のお時間連絡などの事務的連絡を行っております。ご希望の方はお問い合わせください。

窓口受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~11:30	○	○	★	○	○	休	休
14:00~16:30※	×	×	★	○※	×	休	休

★火曜、水曜は予約制となっております。お電話ください。
※木曜日午後は16時までです。ご了承ください。

☎ 0467-32-5230 (代)

発行: 医療法人鳥伝白川会 ドクターゴン鎌倉診療所

編集: 事務 篠崎・敦川

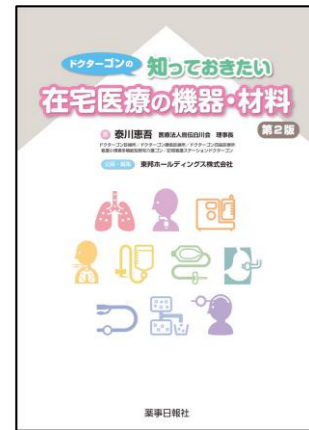
《お車でお越しの場合》

診療科: 外科・内科・訪問診療
担当医師については、当院ホームページにてご確認をお願いいたします。
<http://www.drgon.net/kamakura/>

〒248-0027 鎌倉市笛田4-25-2アスクレピオン鎌倉B-1
TEL 0467-32-5230 FAX 0467-33-3376
URL <http://www.drgon.net/kamakura/>



第2版が発売となりました理事長泰川医師の著書の一部ご紹介



急激な人口の高齢化と医療レベルの向上によって、在宅医療の現場で医療機器や医療材料を必要とする医療依存度の高い人が急速に増えています。しかし、医師、専門看護師以外の在宅医療と介護に関わるスタッフの多くは、医療機器や医療材料を実際に扱う機会が少ないのが現状ではないでしょうか。

一方、患者さんやそのご家族は、使用する医療機器や医療材料を日常的に目にするだけでなく、場合によっては手にとって操作しなければならないこともあり、常に不安を抱えています。また、医療介護のスタッフは専門知識や技術があると思われるため、職種に関係なく、さまざまな相談を持ちかけられることも考えられます。本書は当初、薬剤師の方に向けた医療材料の説明会の資料として作成する予定でした。しかし、さまざまな過程を経るうちに内容が充実していき、それとともにボリュームも増え、単なる資料としてよりも、在宅医療に携わるさまざまな職種の方に広く手にとって役立てて欲しいと考えるに至りました。また、患者さんのご家族や、介護職といった方々にも本書を見ていただき、医療機器や医療材料について理解を深めていただきたいとも考え、それらをふまえた内容とすることで、たくさんの患者さんのためになるような書籍を目指すこととしました。特に、これまで病院でなければできなかった医療処置が在宅でも可能となった現在、在宅医療と介護に関わるスタッフが、こうした医療機器や医療材料についての相談に応えることができ、適切な指導や対処が行えるよう、よく用いられる医療機器や医療材料の特徴及び注意点について理解を深める必要があると考えます。内容の一部をご紹介します。



左記QRコード、又はAmazonからもご購入いただけます。

輸液ポンプ/経腸栄養ポンプを理解しよう！輸液ポンプ/経腸栄養ポンプのポイント

輸液や経腸栄養剤の投与にポンプを使用することで、流量を容易かつ正確に調節し、一定に保つことが可能となり、気泡混入、ルートの閉塞などのトラブル発生をアラーム等で知ることができる。

また、キャリアパックや専用ジャケットを使用することで、輸液しながらの外出も容易になる。ポンプ本体と付属品は、医療機関と契約したリース会社が患者に貸与する。医療機関は健康保険によって費用を算定し、リース会社にリース料を支払う形が一般的である。



ニプロキャリアポンプ

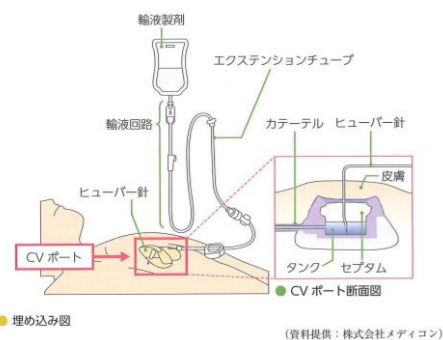


カフェーポンプs

「ドクターゴンの知っておきたい在宅医療の機器・材料第2版」(薬事日報社、2024年)

TPN 完全静脈栄養法(total parenteral nutrition)

【完全静脈栄養法の例】



さまざまな原因による消化管の障害、高度の嚥下障害、高度の栄養障害などで、水分や栄養を消化管から吸収できない場合、高カロリー輸液による栄養投与(TPN)が必要になる。心臓近くまで挿入したカテーテルにポートを付けて皮下に埋め込むことで、カテーテル感染のリスクを下げるができる。在宅TPN (HPN)用のポンプの場合、安定したスピードで輸液することが可能であり、点滴回路に必要な成分や抗生剤を一緒につないで投与することもできる。

なお、条件が良ければ十分なカロリーを投与できるが、糖尿病の患者では血糖の変動に気をつける必要がある。また、定期的に点滴回路とポートに刺す特殊な針の交換が必要であるが、交換操作は医師や看護師が行うとともに、感染を防ぐために無菌操作で行わなければならない。しかし、長期にわたる場合、それでも感染は必至で、カテーテルとポートを交換する手術が必要となる。また、微量元素や脂肪など、必要な栄養素が不足することがあるので、血液検査で確認する必要がある。

TPNを理解しよう！TPNのポイント

完全静脈栄養法は、悪性腫瘍その他の原因で、長期にわたって消化管が使用できない患者に用いられる栄養法である。完全非経口栄養法とも呼ぶ。すべての栄養、高カロリー輸液を大静脈に挿入したカテーテルから補給する。高カロリー輸液を用いることから、以前はIVH(中心静脈栄養法:intravenous hyperalimentation)とも呼ばれていた。なお、在宅におけるTPNについては、HPN(在宅中心静脈栄養法:home parenteral nutrition)と呼ばれている。



事業所紹介 カマタ歯科診療所

カマタ歯科診療所は「食べるための歯科医院」を医院理念として、2017年10月に鎌倉市大船に開業しました。

皆様からよく「訪問診療専門ですか？」と聞かれることがあります。祝日を除いた週7日中5日は外来診療を行っています。

外来診療ではインプラント治療や矯正治療等は行っていませんが、他院では断られがちな障害をお持ちの方や歯科医院が苦手な方の診察もしています。常勤と非常勤を合わせて4名の歯科医師が毎日の診療を担当しています。

訪問診療は日曜・祝日を除いて稼働しており、新規依頼や急患には可能な限り迅速に対応しています。

院長は現在、神奈川歯科大学附属病院障がい者歯科に非常勤勤務しており、当院で対応が困難な患者様については、大学病院にて全身麻酔下での治療も行っています。また、摂食嚥下機能療法の診察も行い、歯科医師として診査・診断できる範囲での治療を提供しています。

今後の展望として、高齢者在宅医療の推進はもちろん、当院の強みを活かし、通院が困難な障害をお持ちの方々への積極的な介入を進めていきたいと考えています。また、自院内での多職種連携をさらに強化し、地域になくならない歯科医院を目指して、地域医療の質の向上に努めてまいります。

開院8年目の発展途上の歯科医院ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

スタッフの皆様

